

なんでも

北から南から

地域協議会

# ちきょう自慢

vol.5

四国ブロックから



## 連合徳島・西部地域協議会 編

地域協議会(略称:地協)とは?  
地域の働く人たちの「よりどころ」として、地域政策の実現や労働相談、組合結成の支援などの取り組みを行う組織。全国に260の地協がある。



### ちきょう PROFILE



つた やすみ 蔦 泰見事務局長

おがわら かな 小川里花書記



「夏休みフェスティバル」  
魚台の組み取り



山本女性委員会委員長の  
「団結がんばろう!」

- 自然豊かな山間地で主要な産業は林業や観光業。三好市の渓谷では、2017年にラフティング世界大会が開催される。
- 西部地協は、専従役員2名、総勢18名の役員体制、雰囲気は「和気あいあい」。
- モデル地協として徳島西部ライフサポートセンターの強化に取り組み、未組織労働者との結びつきを強めている。二ト出張相談や就労準備支援事業も行う。
- 昨年、西部地協女性委員会が発足!働く女性の権利向上のために精力的に活動。
- 連合徳島と3地協合同の大運動会では、600名もの組合員とその家族が参加。
- 毎年恒例の「夏休みフェスティバル」(労福協や労金、全労済などと共催)は子どもたちにも好評で、大盛況!

カバーエリア



地協概要 (2015年12月1日現在)

- ・加盟産別数 10産別
- ・単組数 25単組
- ・組織人員 2,850名
- ・議長 大西 茂 (自治労)
- ・管轄地域 三好市、美馬市、東みよし町、つるぎ町



事務局所在地

〒778-0002  
徳島県三好市池田町マチ2212-2  
☎0883-72-8611  
Mail: seibu-life@wish.ocn.ne.jp

西部地協の活動はこちらのFBでご参照、応援してください!  
Facebook 連合徳島

いいね! してね



### ちきょう STORY

地協活動のエピソードなど、連合を支える縁の下の力持ち「ちきょう」の物語。



蔦 泰見  
事務局長

#### 15年ぶりの地協役員として

西部地協立ち上げ時に初代議長でしたが、その後は職場で管理職となり運動から遠ざかっていました。退職を機に、15年ぶりに事務局長として戻り、最初の仕事が、その年7月の三好市長選挙。連合推薦で公契約条例の制定を推奨する黒川氏当選に向けて闘い、黒川市政の誕生を果たしました。その後、3年

続けて地方選挙を闘いましたが、すべて勝利! 精力的に政策実現行動に取り組むことで、公契約条例の制定が実現に近づくなど目に見える成果がありました。

これも連合徳島のバックアップと地協役員、構成組織の皆さんの力強い支えがあったからです。今後も、地域に住む仲間の暮らしを良くするための取り組みを進めます。



## 活動自慢

### 県下初の公契約条例で、良質な公共サービスと地域の活性化を

徳島県内で初の公契約条例が制定されようとしています。2015年9月に三好市公契約条例策定審議会が発足。以降、5回の審議会が開催されました。

近年、医療・介護、子育てなどの公共サービスの劣化によって社会不安が広がっていることを背景に、連合徳島では「良質な公共サービスの確立を求める徳島県連絡協議会」を立ち上げ、学習会やフォーラム、新聞での意見広告掲載などの周知活動を行ってきました。西部地協においては、公契約条例の先進地である東京都多摩市で、条例制定までの進め方を学ぶなど、三好市の条例制定へ向けて準備を進めてきました。

その後、審議会が発足。この間、西部地協が組合員へのアンケート調査を実施し、「値下げ競争が進むと安全対策コストが下がる。死亡事故が起きてからでは遅く、公正な価格で取り引きされるべき」「若者の居住を促し、高い報酬下限額を設定してほしい」などの声を、パブリックコメントとして行政に意見反映してきました。

審議会では、経営側との意見の隔たりがあったものの、篤事務局長が労働側委員として、公契約のもとで働く人の雇用・労働条件を守り、地域住民がより良い公共サービスと安心な暮らしを手に入れるために、粘り強く審議に臨んできました。

地域住民の安心で安全な暮らしは公共サービスによって保障されているといっても過言ではありません。西部地協は、地域の労働環境改善に向け、県下の仲間とともに運動を進めています。地元企業の人材確保と地域の活性化のためにも、早期に公契約条例が制定されるよう引き続き取り組みます。

(2016年4月1日現在)



ラッピングバスでもPR「公共サービスは私たちの生活です」

#### 公契約条例制定に向けた取り組み一覧

- 2011年11月 ◆ 公共サービス基本条例・公契約条例をめざすシンポジウム
- 2012年10月 ◆ 公契約条例・公共サービス基本条例をめざすフォーラム
- 2013年12月 ◆ ラッピングバスの出発式典
- 2015年2月 ◆ 多摩市など先進地の視察
- 2015年6月 ◆ 地域活性化フォーラム in あなん
- 2016年1月 ◆ 組合員へパブリックコメントの募集
- 2015年10月～2016年3月 ◆ 三好市公契約条例策定審議会

→9月議会に条例素案を提出予定



大西議長(左)から黒川市長(右)へ公契約条例を含む自治体要請書を手交

次回は  
連合北海道・  
留萌地協  
を紹介します！

## 地域自慢



### 見 祖谷のかずら橋



日本三奇橋の一つ、秘境・祖谷の吊り橋は、平家一族が追っ手から逃れるため、いつでも切り落とせるようにと、野生の「シラクチカズラ」という植物で編んだそう。足下の横木と横木の間は10cmものすき間が！何とも言えないスリルが味わえますよ。

### 食 でこまわし



じゃがいも、豆腐、こんにゃく、そば団子を竹串に刺し、みそだれをつけて炭火で焼いた田楽。みその焦げ目はパリッ、中身はホッコリの郷土料理。回しながら焼く様子が「でこ(人形)」に似ており、この名がついたとか。

#### 取材レポート

秘境・かずら橋の取材中に、連合徳島から街宣車が駆けつけてくれました。物静かな渓谷に「クラシノソコアゲ応援団」のアピール音が響きわたります。本部にいと気づかないことも多々ありますが、「地域の隅々にまで連合運動が展開されているんだ」と、その音が私の「心」にも響きました。これからは「チキョウノ応援団」として業務に邁進します！

連合組織拡大・組織対策局 加藤岳